

令和4年度 第2回八幡地域協議会 会議要録

日 時：令和4年10月17日(月) 19時00分～20時40分

場 所：郡上市役所 本庁舎 4階 大会議室

出席者：(八幡地域協議会委員)

日置次郎、兼山勝治、河合 研、山下優子、可児隆一、加藤徳光、鷺見耕平、
荒木和彦、村瀬正人、山田篤司、細川竜弥、池戸郁夫、先山祥一、後藤正和
(オブザーバー)

渡辺友三、本田教治

(事務局)

清水八幡振興統括、三島政策推進課長、武藤政策推進課長補佐、
牧野政策推進課主任

欠席者：(八幡地域協議会委員)

鈴木美好、石山加代子、山田昌昭、横井 哲、武藤里恵
(オブザーバー)

田代はつ江、田中義久

(開会 19時00分)

進行：課長

開会

事務局

定刻となったので、令和4年度第2回八幡地域協議会を開会させていただく。開会に先立ち、郡上市地域協議会設置規則第7条第4項に、会議は委員の2分の1以上の出席で成立するとある。委員19名現在14名であるので、2分の1以上となり、この会議は成立することを報告する。

1. あいさつ

事務局

本日は昼間お疲れの中、またお足元の悪い中、委員・八幡議員の方々にご出席いただき感謝申し上げます。今年3年ぶりに色々な対策をとり、規模を縮小した郡上おどりを開催することができました。関係者の多大なご協力の上で開催できたこと改めて感謝申し上げます。また、11月6日には3年ぶりの郡上八幡ふるさとまつりの開催に向けて準備をしている。開催の折には、ご協力またはご参加をお願いしたい。新型コロナウイルスについては第7波の拡大を見せる中、郡上市では下火という形で推移している。基本的な対策をとりながら、日々の生活を、それぞれの団体の活動を計画していくことが続くと考え

る。対策を心掛けてほしい。今回の会議では、これも3年ぶりになるが先進地研修、地域づくり団体の中間報告をしていただく。できるだけ短時間で終われるようにご協力をお願い申し上げる。

2. 会長あいさつ

コロナ禍の中でも各団体が様々な活動している。どのような活動しているのかこの中間報告で発表してもらえることは楽しみである。

事務局

以後の議事については会長により進行いただく。

進行：会長

3. 協議事項

1) 先進地視察について

事務局より、先進地視察（案）に基づき説明する。

事務局：第1回協議会で、事業計画に先進地視察を含めていたが、その内容を具体化した。

この視察先については、事前に事務局案を会長と副会長に相談させていただき形での今回の視察先の決定を行った。中津川市の加子母地区を視察することとして、調整の方をさせていただいている。この視察先に決めた理由として、八幡地域協議会は主に各地区の地域づくり協議会等がこの会議の構成員となっているということから、それぞれの団体においても、今後の活動の参考にできる先進的な取り組みがあるからである。

視察先に対する質疑応答においても込み入ったお話をすることも可能ではないかということから、今回中津川市の加子母地区を視察先とした。

今回の中津川市加子母地域への視察日は12月4日で、行先はNPO法人かしもむらとなる。

面積の94%が山林であり、人口2,800人程、高齢化率40.7%の加子母地区において、平成24年度に自主的に地域運営に取り組むため地域審議会を基に加子母むらづくり協議会が発足した。協議会で決定された方針や活動について、10の区長会とPTA、老人クラブ、スポーツ少年団、消防団、森林組合等約150の地域活動団体が属している10の分科会が連携し、地域が一体となって活動している。その協議会の中心的な組織として、協議会の経済的基盤の安定化を図るため、NPO法人かしもむらが立ち上がった。

協議会の主な活動は、若者に魅力的な加子母を知ってもらうために「かしも木匠塾」という大学と連携した学生たちが合宿して、木製構造物を制作したり、学生たちから地域づくりの提案を受けたりしている。更には加子母の子どもたちに保護者と一緒に地域への愛着を育む取り組みを行っている。これらの活動が、農山漁村における「むらづくり」のモデルとなる優良例として、令和元年に「豊かなむらづくり全国表彰事業」農林水産大臣賞を受賞した。

かしもむらについては、地域放送、域学連携、文化・芸術、観光振興など様々な事業を展開している。例えば、県指定有形民俗文化財にも登録されているかしも明治座の管理・運営、手ぬぐい等の物品販売や施設案内ガイド体験等の自主事業を行っている。また、独自の広報システムによる行政情報や地域情報伝達、高齢者買い物支援システムの管理や運営を、有償コミュニティバスの運営、高齢者の生きがいづくりを目的とした軽トラ朝市の開催など、住民が一体となって地域づくりに取り組んでいる。

視察の予定について、8時に郡上市役所を出発し、9時半に事務局のある加子母総合事務所に到着して、かしもむらの担当者と1時間半、取り組みの説明や意見交換会を行う。その後11時にかしもむらが管理・運営をしているかしも明治座を45分間見学した後、昼食をとり、その後道の駅加子母で1時間ほどのショッピングの時間を設ける。その後、郡上市役所へ15時に到着の予定である。

見積りについては、今回視察料として500円、10人以上の場合は300円となる。また、視察料については八幡地域協議会全体からの活動交付金より支払うため、委員の負担はない。ただし、昼食の朴葉ずしの代金750円は自己負担となる。

会 長：質疑応答をお願いします。

委 員 ①：行先は郡上と似たところがある。今後の郡上をどのようにするのかについて適している気がする。

委 員 ②：ここが先進的など現地に行って学べる点があるなら教えてほしい。

事 務 局：小さな拠点とネットワークの構築という考えに基づいて考えると、加子母むらづくり協議会のように、行政が行う事業以外に、自分たちが必要とされるような事業をそれぞれに進められている。例えばコミュニティバス有償運行など、自分たちで、取り組み、稼ぐような取り組みをしており、行政としてこの先手が届かなくなってしまうような取り組みを、それぞれ協議会で作っているという部分が、先進的な部分だと考える。このあたりを含めて、それぞれの地域づくり協議会の委員にも、この先の活動に何らかの参考になる部分があるところや、それぞれが持っている課題というものも、この加子母むらづくり協議会やNPO法人かしもむらの取り組み等々を比較して、それぞれご発言ご質問など、意見交換を通して有意義な時間を持てると考えている。

オブザーバー①：意見交換は事前にするのか。また視察料とは何に関しての料金なのか。相手の日当か資料代なのか。

事 務 局：かしもむらが管理しているかしも明治座の見学料としての料金である。意見交換については、尋ねたいことがあるし、事前にこのようなことを聞きたい部分がある場合は、事前に事務局まで連絡をしてほしい。その内容を視察先にお尋ねとして提出する。

会 長：中津川市の一部として加子母地区がある。そのような意味では八幡によく似ている。それぞれの地域の課題や、それぞれの地域での取り組みを見ることができると思う。

2) 令和4年度八幡地域協議会の事業実績（中間報告）について

事務局より、地域協議会活動交付金実績報告書（中間）に基づき全体を説明し、詳細については各団体より説明。（川合西部地域協議会、小那比夢ビジョン実行委員会は担当者欠席のため、事務局より説明。）

事務局：八幡地域協議会本体としては、当初交付額120,200円より87,000円を執行見込みとしている。よって、33,200円が不用額となる予定である。なお、先進地視察のバス借上げの金額変更により不用額が変わる可能性がある。執行内容は、活動交付金振込手数料、先進地視察、再分配用の活動交付金振込手数料である。

委員③：郡上八幡まちづくり会議においては、当初交付額が577,000円で、執行見込みも同額であるため、不用額は無い。執行内容は、6月からまちづくり人材育成事業としてあすの郡上八幡をみつけるゼミを行い、勉強しながら色々な意見交換を行っている。また、生業プロデュース推進事業として、町屋敷越前屋を活用して郡上市内の商品を紹介し、「郡上のええもんいち」と銘打って7月から9月まで開催した。

また、町屋敷越前屋の蔵と前庭を使用した子育ての世代向けの企画をしている。最後に、あすの郡上八幡をみつけるゼミ、過疎調査、生業プロデュースなどを載せた「まちのコンパス」を配布していく。

事務局：川合西部地域協議会は、当初交付額213,000円で執行見込額150,468円としている。そのため不用額が62,532円発生する。執行内容は7月の楊柳寺境内の草刈り清掃、今後の桜苗木代を挙げている。

委員④：相生地域づくり協議会は、当初交付額が382,000円で執行見込額が自主財源を含めると470,000円となり、不用額は発生しない。事業活動内容は、5月に施設草刈り、10月30日にアイオイシネマを行う予定である。また3月にアイオイパーティを行い、御enshaマルシェ、アイオイシネマ等を行うつもりである。その他にSNS等のウェブ広告でアイオイシネマ等を宣伝している。

委員⑤：西和良まちづくり協議会では、当初交付額が573,000円で執行見込額は633,051円であるため、60,051円不足している。内容は、地域の活性化事業として10月に西和良感謝祭を開催した。感謝祭は公民館のふるさとまつりがなくなったため、公民館と共同でイベントを行った。また、小さな拠点の場所として「NISHIWARA VILLAGE」の案内看板を設置し、調理室、ヘリポート等駐車場の区画表を整備した。

事務局：小那比夢ビジョン実行委員会は、当初交付額162,000円より執行見込額が162,000円のため、不用額は発生しない。事業活動内容は、5月に大学生や職員などの参加による茶摘み体験と地域の団体による地元の山菜を使用した食材による昼食提供での交流を行った。今後は地域の草刈りを行う予定である。

委員⑥：口明方地域づくり協議会の当初交付額は139,000円であり、執行見込額は139,000円であるため、不用額は発生しない。事業活動内容は5月に登山道整備、展望台設置等を行い、10月には危険木伐採現地講習会を行う予定である。

会長：ここで川合東部地域づくり協議会から新たに事業活動計画書が出てきているため、説明をお願いする。

委員 ⑦：川合東部地域づくり協議会は当初活動交付金を申請してなかった。平成8年に地域づくり発足の際に川合地区の場所や観光場所など載せたロードマップの看板を川合公民館の横に造ったが劣化している。もし予算に余裕があるのなら、活動交付金を回してほしい。

会長：質疑応答をお願いします。

オブザーバー②：郡上八幡まちづくり会議についてお聞きしたい。町屋敷越前屋についてどのような方向性を持っているのか。中間報告では、展示や商品紹介等で場所を貸しているとあったが、収益を考えた活用方法を持っているのか。

委員 ③：越前屋で私たちが収益を上げることはできない。賃借料は郡上市へ行き、私たちの団体の収益にはならない。その中で越前屋を利用して色々事業をしている方、そのような方が育っていける場所にしていこうというのが大きな目的である。越前屋を利用して、八幡を活発に動かしていける人材を創っていく。ただ、越前屋内でも使われていない場所がある。事業者、観光客、地元の人が使えるようにしているが、利用促進に繋がっていない。子育て世代など若い人に何かできないか考えている。例えば、越前屋では調理することができるため、子育て支援に利用できないか模索している。

会長：次に川合東部地域づくり協議会の事業計画について、事務局より説明をお願いしたい。

事務局：西和良まちづくり協議会と川合東部地域づくり協議会から、追加での交付金の交付を求められたため、不用額を充てることを考えている。

不用額の中で、八幡全体で33,200円が不用額で挙がっているが、先進地視察で人数が増えた場合、バスの大きさが変わる、視察料も変わることもあるため、今の額を割り込んでくる可能性がある。それらを踏まえた上で説明をさせていただくと、不用額の合計は、96,000円になる予定である。

これに西和良まちづくり協議会の47,000円の追加交付の依頼があり、川合東部地域づくり協議会からは109,000円という額の依頼があった。

これら不用額の配分のパターンを4つ示させていただく。

一つ目は、不用額全体を川合東部地域づくり協議会に配分するという案。その場合、依頼額109,000円に対して96,000円になるため、残りは自己財源で運用する必要がある。

二つ目が、不用額をそれぞれ二つの団体で折半して48,000円を配分するという案。

三つ目の案は、各団体からこの要求をされている額をベースにして、96,000円を按分するという案。この場合、西和良まちづくり協議会が29,000円、川合東部地域づくり協議会が67,000円となる。

四つ目は、取り組んでいる総事業費をベースとして按分をする。この場合、西和良まちづくり協議会が47,000円、川合東部地域づくり協議会が49,000円という形になる。

この4つのパターンを、事務局として提示させていただく。

会 長：八幡全体の見込みに変更があるということか。

事 務 局：10月30日を目途に先進地視察の出欠をとって、参加する人数によって八幡全体の不用額を算出できる。

委 員 ④：相生地域づくり協議会は、現在382,000円の当初交付額で、470,000円の事業費に充てて、不足分は自己財源を使用しているが、不用額があるのなら、相生地域づくり協議会にも配分をしてほしい。

委 員 ⑤：西和良まちづくり協議会は、調整を行えば当初の活動交付金で問題ないと思うため、不用額はできる限り他の地域づくり団体へ回してほしい。

事 務 局：まず、先進地視察の参加人数を確定させて、後日川合東部地域づくり協議会、相生地域づくり協議会、事務局の3者で協議をさせていただく。協議の結果で按分額を決定する。

会 長：それでは、後日川合東部地域づくり協議会、相生地域づくり協議会、事務局の3者で不用額の按分の協議をさせていただくことでよろしいか。

会 議：（意見なし）

会 長：ありがとうございました。

その他、意見等ないため協議事項としては以上とさせていただく。

4. その他

事 務 局：11月6日に旧庁舎記念館周辺で郡上八幡ふるさとまつりを開催する。コロナ禍により例年より若干出店は少なめである。また、新橋、郵便局前、大垣共立銀行前、いがわ小径の入口4カ所に受付を設け、消毒・検温を行って入場してもらうように計画しているのでよろしくお願ひしたい。

事 務 局：企画課の案件になるが、令和4年度から令和9年度までの5ヵ年を対象とした郡上市の地域公共交通計画の策定を現在進めている。

今までに、バスの情報の調査、市民アンケート、高齢者のサロン等による聞き取りをすでに行った。この後各7地域で、公共交通懇談会というワークショップを開催する予定にしている。このワークショップの参加を、本日出席しているまちづくり団体、地域協議会の代表の方へ、参加のご案内を送付することとしている。

また、シニアクラブ、女性団体等にも、出席のご案内を送付している。各代表者の方には明日以降にご案内が行くことと思うため、ご協力をお願いしたい。他にも出席を依頼する方々としてPTA、自治会連合会長も案内を送付したため、ご協力をお願いしたい。各自治会長の方にも案内をさせていただく予定となっているので、お願ひ申し上げる。

各地域のワークショップ等が終わったら、計画骨子素案等の作成に入る。その案等の説明について、第3回八幡地域協議会で、内容等の報告を企画課の方からさせていただくため、よろしくお願ひ申し上げる。

事 務 局：次回は1月下旬から2月上旬に第3回八幡地域協議会を予定している。

委 員 ⑥：お尋ねしたいことがある。八幡地域の各地域づくり団体の課題調査というのが来たが、その中に地域づくり団体の構成委員の調査があった。個人情報を書くところ

もある。これは何に使われるのかというのを教えていただきたい。

事務局：今回この調査をした理由について説明をさせていただく。

八幡地域協議会の特徴として、自治会の方からの選出、公民館からの選出、そしてその他団体に所属する方からも選出している中で、各地域で活動される団体からも選出されているというところで、9地区から選出して、各選出の団体に活動交付金を交付している。

そこで、交付金を交付した団体が、どのような方で組織されているかというのを把握しておきたい。また、今後小さな拠点に対して、地域運営組織にはどのような地域の組織を持っているのか、その組織でどのような方が選出されているか確認をしたい。例えばどのような年代か、どこで勤務しているか、自営業が中心か、市外で勤務しているか、そのようなことに関して、どのような構成をしているのか把握しておきたい。今後の地域運営組織の作り方にも参考になると思い今回調査をさせていただいた。

委員⑥：そのような目的ならば、匿名で良いのではないか。要は構成員の人の了解がとれていない。また何かの一覧表で外部に出るのであれば具合が悪い。匿名でことは足りると思う。

事務局：活用の部分において、外部に出すということは当然しない。個人情報保護条例に基づいて、いただいた情報の中で外部へ公表するものについては、あらかじめ断っているが、今回そのような意図は一切ない。どのような方が各地区の協議会の構成員となっているのか事務局として把握したいということであるので、ご理解いただきたい。

委員⑤：西和良まちづくり協議会も、委員から許可を取らなければならないため、今日は提出することができなかった。

それから、小さな拠点の地域運営組織を作ると言われたが、例えば私たちは任意団体で作ってきたが、どのように位置付けをしていくのか。協議会がその頭になって地域を支えていくのか。今後の地域づくりの考え方や方向性が変わってくるが、どのように考えているのか。

事務局：小さな拠点の部分においては、まだ協議の段階である。ただ、西和良まちづくり協議会のような、先に進んだ取り組みをしている部分もあるため、そのようなところも視野に入れながら、取り組み等を研究した上で、地域全体で、まちづくりの協議会や地域の協議会を1つの地域の運営の母体とする考え方もある。今検討している部分ではあるので、明確な回答はできないが、八幡地域の地域づくり協議会の取り組みの部分は、この先、地域において行政の手が届かない部分に対する取り組みができる団体であると思っている。そのようなところで、ご協力をお願い申し上げます。

5. オブザーバー講評

オブザーバー①：コロナ禍の中で、少ない交付金で一生懸命行事をされていること各団体に対して感謝申し上げます。また町屋敷越前屋について、先の決算においても指摘があったため、地域に愛される越前屋として、より良いものにしてほしい。最後に執行部側も市民の方から問い合わせがあったら、はっきりと答えられるように持って行っていただきたい。

オブザーバー②：郡上市内において、八幡地域は活発に活動している。小さな拠点とネットワークを目指しながら進めるのは八幡地域協議会であると考えているため、今後ますますの活躍を期待している。

閉会

(閉会 20時40分)